

路線バスの現状・課題

- 路線バスは、通勤通学など日常の移動手段として、また、地域振興にも寄与する重要な公共交通機関
- 人口減少等による利用者減や燃料価格高騰等による経費の増加により、事業者の経営は厳しい状況
- 近年、運転士不足を理由とする減便等が実施されるなど、**公共交通事業者において人材不足が深刻化**

■ 地域公共交通の人材不足の状況



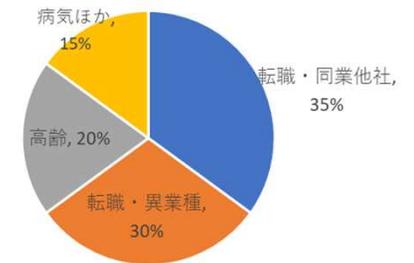
【バス運転士の給与水準】

	給与	賞与等	年収
全職種単純平均	416.1	90.1	507.9
バス運転士	390.7	62.5	453.2

厚生労働省「令和5年 賃金構造基本調査」から算出

【離職の理由】

観光バス事業者や他産業に比べて給料水準が低く、拘束時間が長い
ため、同業他社や異業種への転職
が多数



(県内事業者への聞き取り結果)

■ 人材確保・定着への取組み

- ・ 路線バス事業者に採用された運転士への奨励金支給、大型二種免許取得費を支援
- ・ バス運転体験車両の購入費全額を補助し、運転体験会開催を支援
- ・ 路線バス事業者が実施する人材確保の取組みに対する補助
- ・ 人材紹介会社の活用や、人材確保に関する専門家の活用を支援
- ・ 新聞広告やTVCM等を活用した運転士募集等のPR



運転体験車両



バス運転士募集新聞広告

提言要旨

路線バスの持続可能性を高め、「**地域公共交通の最後の砦**」としての役割を堅持できるよう、特段の措置を講じること

- 路線バスの担い手となる交通事業者の経営安定に向け、**新たな補助制度等の構築**を検討すること。
- **路線バス運転士の確保**を図るため、**構造的な賃上げ**につながる取組みを行うこと。
- 地方自治体が行う**人材確保に向けた取組み**や**公共交通の利用促進策**について、**十分な財政支援**を行うこと。